

次の **I** の問題は新課程の歴史総合の問題です。「日本史(新)」の受験者が解答してください。(解答番号は **1** ～ **7**)

I 昭和初期は、政治・社会の変動が大きく、比較的短期間に総理大臣が交代した。それぞれの総理大臣がかかわった政治的事柄について、下の問い(問1～問7)に答えよ。(28点)

昭和初期の動向

西暦	年号	月	総理大臣	政治・経済・社会
1925	大正 14	1	加藤高明	日ソ国交樹立
		4		治安維持法公布
		5		普通選挙法公布
1926	大正 15 昭和 1	1	若槻礼次郎 I	幣原喜重郎外相による協調外交推進
1927	昭和 2	3		金融恐慌
		5		第1次山東出兵
		6		ジュネーヴ会議
1928	昭和 3	2	田中義一	最初の衆議院議員普通選挙
		3		日本共産党大検挙
		4		第2次山東出兵
		6	張作霖爆殺事件	
		7	治安維持法改正	
		8	特別高等警察機構拡張	
1929	昭和 4	10	浜口雄幸	ニューヨーク株式市場暴落の影響により 糸価暴落
1930	昭和 5	1		金輸出解禁
		4		ロンドン海軍軍備制限条約調印 統帥権干犯問題おこる
1931	昭和 6	4	若槻礼次郎 II	重要産業統制法制定
		9		柳条湖事件(満洲事変)
		12		金輸出再禁止
1932	昭和 7	2	犬養毅	リットン調査団来日
		3		満洲国建国宣言
		5		五・一五事件
		9	斎藤実	日満議定書調印
		10		リットン調査団報告書発表
1933	昭和 8	3		国際連盟脱退通告

問1 加藤高明内閣で公布された治安維持法と普通選挙法について説明した文のうち、正しいものはどれか。

1

- ① 普通選挙法は、1925年に改正された貴族院議員選挙法の総称である。
- ② 普通選挙法は、それまでの納税資格制限を撤廃し満25歳以上の男女に選挙権、満30歳以上の男女に被選挙権を認めた。
- ③ 治安維持法は、1925年の普通選挙法の成立直後に立法された。
- ④ 治安維持法は、国体の変革、私有財産の否認などを目的とする結社を禁止する法律であり死刑を罰則とする。
- ⑤ 治安維持法は、普通選挙の実施による社会主義の拡大、日本とソ連の国交樹立後の社会主義運動の活発化を取り締まるのが目的である。

問2 第1次若槻礼次郎内閣のもとでおこった金融恐慌は、1927年、関東大震災のために現金化できなくなった手形の処理をめぐって、大蔵大臣が銀行の経営悪化に触れる発言をしたことを発端とする。この恐慌をめぐる動向を説明した文のうち、適切でないものはどれか。

2

- ① 人々が預金の引出しに走る取付け騒ぎとなった。
- ② 台湾銀行・十五銀行など、日本の銀行・会社の破産・休業が続発した。
- ③ 金融恐慌により中小の銀行は大打撃を受けて、銀行の合併が急速に進んだ。
- ④ 第1次若槻内閣は、この恐慌をモラトリアム(支払猶予令)を発して収拾した。
- ⑤ 三井・三菱・住友・安田・第一の財閥系銀行による金融支配が一層強化された。

問3 田中義一内閣は、1928年のパリ不戦条約に参加するなど協調外交を継続した。一方中国では、外国の干渉を克服して新たな国家建設を目指す国民党と共産党の協力体制のもと、蔣介石が率いる軍隊の北上(北伐)に対し、山東省済南の居留民保護を名目に3度にわたって山東出兵をおこなった。1928年の第2次山東出兵の際、日本軍と北伐軍の衝突がおきたが、翌年には話し合いで解決した。しかしこの田中内閣の外交方針を軟弱とみた関東軍が、1928年6月、田中首相に近い満洲の軍事指導者張作霖を暗殺した。この暗殺事件にかかわる説明のうち、適切なものはどれか。

3

- ① 張作霖は、北京からハルビンに向かう列車ごとハルビン郊外で爆殺された。
- ② 田中首相は協調外交の方針に則り、関係者の厳重処分と真相の公表をしないことを昭和天皇に約束した。
- ③ 真相を究明すると日本の権益が守れないとする一部閣僚らの反対により、真相は非公表とされ、関係者の処分も甘かった。
- ④ 暗殺事件の真相を非公表とし、関係者の処分を軽微なものとした対応に理解を示した昭和天皇は、田中首相に褒賞を与えた。

問4 田中義一に代わって組閣した浜口雄幸は、経済の建て直しのため、1930年に金本位制への復帰(金解禁)をおこなった。また浜口内閣は協調外交の立場から、同年4月にロンドンで海軍軍備制限条約を締結した。浜口内閣の実績について説明したA～Dのうち、適切な組み合わせはどれか。 4

- A 金本位制への復帰は、円の為替相場を安定させ、貿易の拡大をはかることを目的とし、金の輸出を解禁した。世界恐慌のなかで実施したため、輸出が大幅に減少し、日本全体が深刻な不況に陥った。
- B 深刻な不況への対応として、積極財政を推進した。
- C ロンドン海軍軍備制限会議では各国の主力艦の保有比率が話し合われ、日本は対イギリス・アメリカの主力艦の7割とすることを目指したがわずかに達しなかった。
- D ロンドン海軍軍備制限条約は、保有比率が海軍の意向に達しなかったにもかかわらず、内閣が締結した。この内閣の対応に対し、海軍の一部勢力などが天皇の統帥権を侵犯したとして批判した。これを統帥権干犯問題という。

- ① A と B ② A と C ③ A と D
- ④ B と C ⑤ B と D ⑥ C と D

問5 狙撃されたのちに退陣した浜口雄幸に代わり、政権を引き継いだ若槻礼次郎内閣(第2次若槻礼次郎内閣)の1931年9月、満洲での権益が守れないと考えた関東軍が南満洲鉄道の線路を爆破した。この事件をきっかけに関東軍が満洲全域を軍事占領し、その後のアジア各地での戦争の端緒となった。これらの動向について説明したA～Dのうち、適切な組み合わせはどれか。

5

- A 満洲とは、中国の東北地方の遼寧・吉林・黒竜江・熱河・興安の5省を指す。
- B 関東軍は、奉天郊外の柳条湖付近で南満洲鉄道の線路を爆破し、中国軍隊の行為と主張した。
- C 関東軍が南満洲鉄道を爆破し、満洲を軍事占領した一連の軍事行動を満洲事変と呼ぶ。
- D 満洲事変以後、日中戦争から太平洋戦争を通算して二十年戦争ともいう。

- ① A と B ② A と C ③ A と D
- ④ B と C ⑤ B と D ⑥ C と D

問6 満洲事変や恐慌対策をめぐって退陣した若槻礼次郎内閣に代わって、犬養毅が組閣した。犬養内閣での政治的動向についての説明のうち、適切でないものはどれか。

6

- ① 1932年3月、清の最後の皇帝溥儀を執政として関東軍に満洲国を建国させた。
- ② 満洲国は現地の有力者たちが「五族協和」を掲げ、自主的に樹立した独立国とされたが、実際には日本の傀儡国家であった。
- ③ 満洲国建国に消極的で承認しなかった犬養首相に対し、海軍の青年将校らが首相官邸・警視庁・日本銀行を襲い、犬養首相を射殺した。これが二・二六事件である。
- ④ 犬養内閣は、太平洋戦争以前における最後の政党内閣であった。

問7 犬養毅首相の暗殺を受け、斎藤実が組閣した。斎藤内閣での政治的動向について説明したA～Dのうち、適切な組み合わせはどれか。

7

- A 斎藤実内閣は、軍部・官僚・貴族院・政党などさまざまな政治勢力が集まって組閣されたため、大政翼賛内閣と呼ばれる。
- B 満洲事変に対し、中国の訴えを受けたイギリスがリットンを団長とする調査団を派遣した。
- C リットン調査団の報告書では、満洲事変は日本の正当な防衛行動でも満洲国・満洲人による自発的独立運動の結果でもないと評価された。
- D リットン調査団の報告を受け、国際連盟理事会では撤兵の勧告がなされ、同総会でも南満洲鉄道付属地内への撤兵、中国の主権を認める、満洲に自治機関をつくるといった対日勧告案が採択された。この採択を受け、日本は国際連盟からの脱退を通告した。

- ① A と B ② A と C ③ A と D
- ④ B と C ⑤ B と D ⑥ C と D

次の **Ⅱ** の問題は旧課程の日本史の問題です。「日本史(旧)」の受験者が解答してください。(解答番号は **8** ～ **14**)

Ⅱ 大正政変とその後についての次の文章を読み、下の問い(問1～問7)に答えよ。(28点)

1911(明治44)年、国家財政が悪化する中で第2次西園寺公望内閣が成立した。しかし翌1912(大正元)年、西園寺内閣の上原勇作陸軍大臣は帷幄上奏権(単独で政務を天皇に報告できる)⁽¹⁾を使って単独辞任し、内閣は瓦解した。

元老会議は桂太郎を後継首相とした(第3次)が、内大臣兼侍従長である人物が⁽²⁾首相となるのは宮中と政府との境界を乱すとの非難の声がただちに上がった。ここに、立憲政友会の **A** と立憲国民党の **B** を中心とする野党勢力・ジャーナリストに商工業者・都市民衆が加わり、「閥族打破・憲政擁護」を掲げる運動として広がった。

桂は非政府組織の新党を組織し、元老政治からの脱却を掲げて内閣を維持しようとしたが、立憲政友会と立憲国民党が内閣不信任案を議会に提出し、それを支持する民衆が議会を包囲したため、1913(大正2)年、内閣は在職50日余りで退陣した。

桂のあとは、山本権兵衛が内閣を組織した(第1次)。山本は官僚・軍部に対する政党の影響力の拡大につとめた。しかし1914(大正3)年、外国製の軍艦や兵器の購入をめぐる海軍高官の汚職事件の発覚により、退陣した。⁽⁵⁾

問1 **A** ・ **B** に当てはまる人物の組み合わせとして、正しいものはどれか。 **8**

- | | | |
|---|--------|--------|
| ① | A 犬養毅 | B 大隈重信 |
| ② | A 犬養毅 | B 尾崎行雄 |
| ③ | A 大隈重信 | B 犬養毅 |
| ④ | A 大隈重信 | B 尾崎行雄 |
| ⑤ | A 尾崎行雄 | B 犬養毅 |
| ⑥ | A 尾崎行雄 | B 大隈重信 |

問2 下線部(1)の理由として、誤っているものはどれか。

9

- ① 西園寺首相は山県有朋と陸軍の2個師団増設の要求を、財政上困難として拒絶した。
- ② 中国でおこった辛亥革命と清朝滅亡という事態に対し、内閣が明確な態度を取らなかった。
- ③ 内閣は、軍部大臣現役武官制を改めて予備役・後備役の大・中将までに資格を広げた。
- ④ 陸軍は師団増設、海軍は建艦計画の実現をそれぞれ求めていたが、内閣は海軍拡張を優先した。

問3 下線部(2)に関して、大日本帝国憲法下において元老の地位に就かなかったのは誰か。

10

- ① 井上馨
- ② 西園寺公望
- ③ 原敬
- ④ 松方正義

問4 下線部(3)に関して、桂の死後の1913年末に結党された政党はどれか。

11

- ① 立憲改進黨
- ② 立憲帝政党
- ③ 立憲同志会
- ④ 立憲民政党

問5 下線部(4)に関して、A は弾劾演説をおこなっている。次の文章はその一部であるが、波線部の説明として、正しいのは下の①～④のうちのどれか。

12

「彼等ハ常ニ口ヲ開ケバ直ニ忠愛ヲ唱ヘ、恰モ忠君愛國ハ自分ノ一手専売ノ如ク唱ヘテアリマスルガ、其為ストコロヲ見レバ、常ニ玉座ノ蔭ニ隠レテ、政敵ヲ狙撃スルガ如キ挙動ヲ執ツテ居ルノデアル。(拍手起ル)彼等ハ玉座ヲ以テ胸壁トナシ、詔勅ヲ以テ弾丸ニ代ヘテ政敵ヲ倒サントスルモノデハナイカ。」

- ① 政権を取ってから、自分の与党を組織しようとした。
- ② 政党を組織し、議会の多数派となって、政権を取ろうとした。
- ③ 組閣反対の声をおさえるため、天皇の詔勅を利用しようとした。
- ④ 陸軍青年将校を中心とするクーデターをおこそうとした。

問6 山本権兵衛内閣(第一次)について説明した次の文のうち、誤っているものはどれか。

13

- ① この山本権兵衛内閣の与党は立憲政友会であった。
- ② 軍部大臣現役武官制を改正し、予備役・後備役まで就任を拡大した。
- ③ 多くの政黨員から任用されていた各省の文官任用に対し、第2次山県内閣によって政黨員の任用が阻止された。これに対し政黨員が就任できる枠を拡大し、政党への配慮を示した。
- ④ 山本権兵衛は長州出身の陸軍大将だった。

問7 下線部(5)の事件は、次のうちどれか。

14

- ① シーメンス事件
- ② ハーグ事件
- ③ リクルート事件
- ④ ロッキード事件

次の **Ⅲ** ～ **V** の問題は「日本史(新)」および「日本史(旧)」の受験者に共通の問題です。いずれの受験者も解答してください。(解答番号は **15** ～ **36**)

Ⅲ 日本における律令の導入について説明した次の文章を読んで、下の問い(問1～問6)に答えよ。(24点)

7世紀後期の日本では、**A** 天皇が国家体制の充実をはかった。**A** 天皇の皇后は **A** 天皇のあとを継いで **B** 天皇となり、689年に令を施行⁽¹⁾、694年には **C** へ遷都した。その後、701年には **D** 親王らによって律令⁽²⁾がつくられ、720年には **E** 親王が中心となって歴史書⁽³⁾が編纂された。

問1 **A** ・ **B** には天皇の名前が入る。組み合わせとして適切なものを、次の①～④のうちから選べ。 **15**

- ① A - 天智 B - 持統
- ② A - 天武 B - 持統
- ③ A - 天智 B - 推古
- ④ A - 天武 B - 推古

問2 下線部(1)の令にもとづいて実施された政策として適切なものを、次の①～④のうちから選べ。 **16**

- ① 6年ごとに戸籍をつくる制度が確立した。
- ② 地方組織として国・郡・里がおかれた。
- ③ 唐への遣唐使の派遣が開始された。
- ④ 中務省、宮内省などの八省が設けられた。

問3 には都城の名前が入る。この都城の説明として適切でないものを、次の①～④のうちから選べ。

- ① 天皇の住居や官衙などからなる宮が中心部にあった。
- ② 東西・南北に走る道路で区画される条坊制をもっていた。
- ③ 都城の内部では大寺院の建設が認められなかった。
- ④ 有力な王族や豪族たちを住まわせるために造られた。

問4 ・ には親王の名前が入る。組み合わせとして適切なものを、次の①～⑥のうちから選べ。

- ① D - 刑部 E - 早良
- ② D - 早良 E - 舎人
- ③ D - 舎人 E - 刑部
- ④ D - 刑部 E - 舎人
- ⑤ D - 早良 E - 刑部
- ⑥ D - 舎人 E - 早良

問5 下線部(2)の律令の説明として適切でないものを、次の①～④のうちから選べ。

- ① 官人に冠位を与える制度が定められた。
- ② 唐の律令を手本としてつくられた。
- ③ 民衆に人頭税として庸を課すことが定められた。
- ④ 律は現在の刑法，令は行政法などに当たる。

問6 下線部(3)の歴史書の名前として適切なものを、次の①～④のうちから選べ。

20

- ① 懐風藻
- ② 古事記
- ③ 続日本紀
- ④ 日本書紀

IV

中世の荘園整理と院政の始まりについて、次の問い(問1～問6)に答えよ。

(24点)

問1 11世紀の後半、関白藤原頼通に皇位継承を抑えられながら、のちに摂政・関白を外戚としないで即位し、荘園整理など、新たな政治を進めた天皇はだれか。

21

- ① 一条天皇 ② 後三条天皇 ③ 後朱雀天皇
④ 後冷泉天皇 ⑤ 三条天皇

問2 1069年に出された延久の荘園整理令に関する次の文のうち、適切なものはどれか。

22

- ① 延久の荘園整理令実施のために登用された大江匡房は、記録荘園券契所寄人別当を務めた。
② 発令された荘園整理令は、902年に出された延喜の荘園整理令と延久の荘園整理令のみであった。
③ 延久の荘園整理令以前の整理令は、荘園整理の実施を国司にゆだねていたため、不徹底であった。
④ 延久の荘園整理令とともに、米の量をはかる枡の大きさを一定のものにした。この枡を「京枡」といった。
⑤ 荘園整理の審査を国司にゆだねず、証拠書類(券契)と国司の報告をあわせて審査し、基準にあわない荘園を停止するため、中央に記録荘園券契所を設けた。

問3 荘園整理によって、貴族や大寺社などが支配する荘園と、公領との区別が明確になった。貴族や大寺社は認められた荘園の整備を進め、国司は公領を新たな単位に再編成して、支配下の豪族などに請け負わせた。公領で再編成された新たな単位の組み合わせとして適切なものはどれか。

23

- ① 国・郡・郷
- ② 国・郡・保
- ③ 郡・郷・保
- ④ 郡・郷・里

問4 莊園整理令によって整備された莊園や公領で、田堵らは名に編成され、権利を強めて名主と呼ばれるようになり、領主に年貢・公事・夫役などをおさめた。この年貢・公事・夫役の内容の組み合わせとして適切なものはどれか。

24

- ① 年貢：手工業製品・特産物
公事：米・絹布
夫役：労役奉仕
- ② 年貢：手工業製品・特産物
公事：労役奉仕
夫役：米・絹布
- ③ 年貢：米・絹布
公事：手工業製品・特産物
夫役：労役奉仕
- ④ 年貢：米・絹布
公事：労役奉仕
夫役：手工業製品・特産物
- ⑤ 年貢：労役奉仕
公事：手工業製品・特産物
夫役：米・絹布
- ⑥ 年貢：労役奉仕
公事：米・絹布
夫役：手工業製品・特産物

問5 11世紀半ばから後半にかけて、陸奥北部でおこった合戦の説明の組み合わせとして適切なものはどれか。

25

- A 前九年合戦：豪族安倍氏が国司と争うなか、源頼義が子の義家とともに安倍氏と戦い、出羽の豪族清原氏の助けを得て安倍氏を滅ぼした。
- B 前九年合戦：豪族清原氏が国司と争うなか、源頼義が子の義家とともに清原氏と戦い、出羽の豪族安倍氏の助けを得て清原氏を滅ぼした。
- C 後三年合戦：陸奥・出羽両国で大きな力を得た清原氏の内紛に源義家が介入し、藤原清衡を助けて内紛を制圧した。
- D 後三年合戦：陸奥・出羽両国で大きな力を得た源氏の内紛に清原氏が介入し、藤原清衡を助けて内紛を制圧した。

- ① A と C ② A と D
- ③ B と C ④ B と D

問6 台頭する武士の力に目をつけた（ E ）天皇は、成長著しい武士を登用し、親政をおこなった。1086年、幼少の堀河天皇に位を譲ると、みずから上皇(院)として院庁を開き、天皇を後見しながら政治の実権を握る院政の道を開いた。（ E ）天皇はだれか。

26

- ① 後白河 ② 白河 ③ 崇徳
- ④ 後鳥羽 ⑤ 鳥羽

V 高度経済成長期の日本に関する次の文章を読み、下の問い(問1～問6)に答えよ。(24点)

この時期には、個人所得の増大と都市化の進展によって人びとの生活様式が大きく変わった。「三種の神器」・「新三種の神器」⁽¹⁾に代表される耐久消費財が普及した。テレビの普及やマスメディアの発達により文化の大衆化⁽²⁾が進んだ。人びとの生活にもゆとりが生まれ、家族旅行や行楽などのレジャー産業が発展した。また、1964(昭和39)年の ア や1970(昭和45)年の イ は、いずれも日本の発展を世界にアピールする国家的なイベントとなった。

人びとの生活が豊かになる一方で、さまざまな社会問題も生みだされた。経済成長の過程で産業構造は高度化し、ウ の比重が低下した。エ のなかには オ が進み、地域社会の生産活動や社会生活が崩壊する地域も現れた。一方、都市では自動車の普及⁽³⁾により交通事故が急増した⁽⁴⁾。また、都市化や産業構造の高度化により公害問題も深刻化し、社会的に大きな注目を浴びることとなった⁽⁵⁾。

問1 下線部(1)に関して、新三種の神器に当てはまるものを、次の①～⑦のうちから3つ選べ。解答の順序は問わないが、全て正解の時にのみ点が与えられる。

27 , 28 , 29

- | | | |
|-----------------|---------|---------|
| ① カラーテレビ | ② 携帯電話 | ③ 自動車 |
| ④ 白黒テレビ | ⑤ 電気洗濯機 | ⑥ 電気冷蔵庫 |
| ⑦ ルームエアコン(クーラー) | | |

問5 下線部(3)・(4)に関して、用語として正しい組み合わせを、次の①～⑥のうちから選べ。

35

- | | |
|-----------------|-----------|
| ① (3) エネルギー革命 | (4) 交通戦争 |
| ② (3) エネルギー革命 | (4) スプロール |
| ③ (3) モータリゼーション | (4) 通勤地獄 |
| ④ (3) モータリゼーション | (4) 交通戦争 |
| ⑤ (3) 流通革命 | (4) スプロール |
| ⑥ (3) 流通革命 | (4) 通勤地獄 |

問6 下線部(5)に関して、次の文章の波線部のうち、適切でないものはいくつあるか。

36

公害を批判する世論の高まりを受けて、政府は1967(昭和42)年に農業基本法を制定し、大気汚染や土壌汚染などの公害が規制の対象となった。1971(昭和46)年には環境庁が発足し、公害行政と環境保全施策の1本化が図られた。また、三重県の四日市ぜんそくや新潟県のイタイイタイ病などの被害をめぐって訴訟が起こり、いずれも被害者側の勝訴に終わった。

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6